

はつかいち未来ビジョン2035

-次期総合計画の基本構想(案)について-

とき：令和7年8月4日

ところ：廿日市市商工保健会館

ちょうどいい、みつけた。



はつかいちし

第1部 総論

- 1 計画策定の意義
- 2 廿日市市を取り巻く社会潮流
- 3 統計からみる廿日市市

1 計画策定の意義

(1) 総合計画とは

総合計画は、長期的な視点で、市政を総合的かつ計画的に運営するためのまちづくりの指針であり、本市の羅針盤となる計画です。

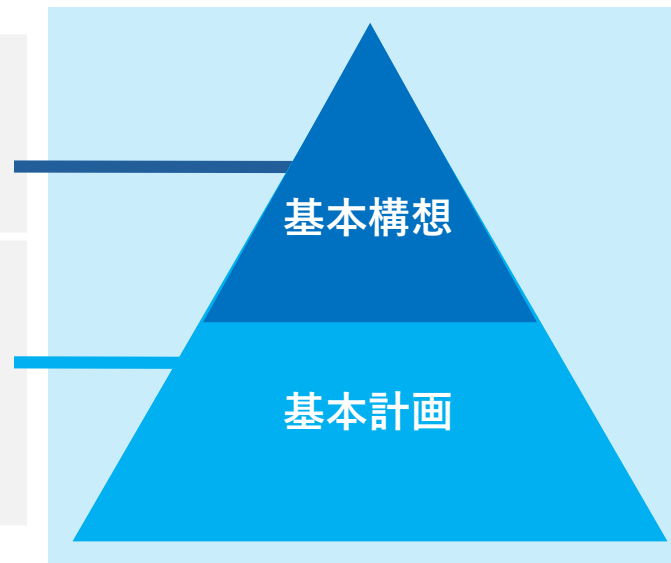
次期総合計画は2026（令和8）年度から2035（令和17）年度までを計画期間とします。

(2) 計画の構成・期間

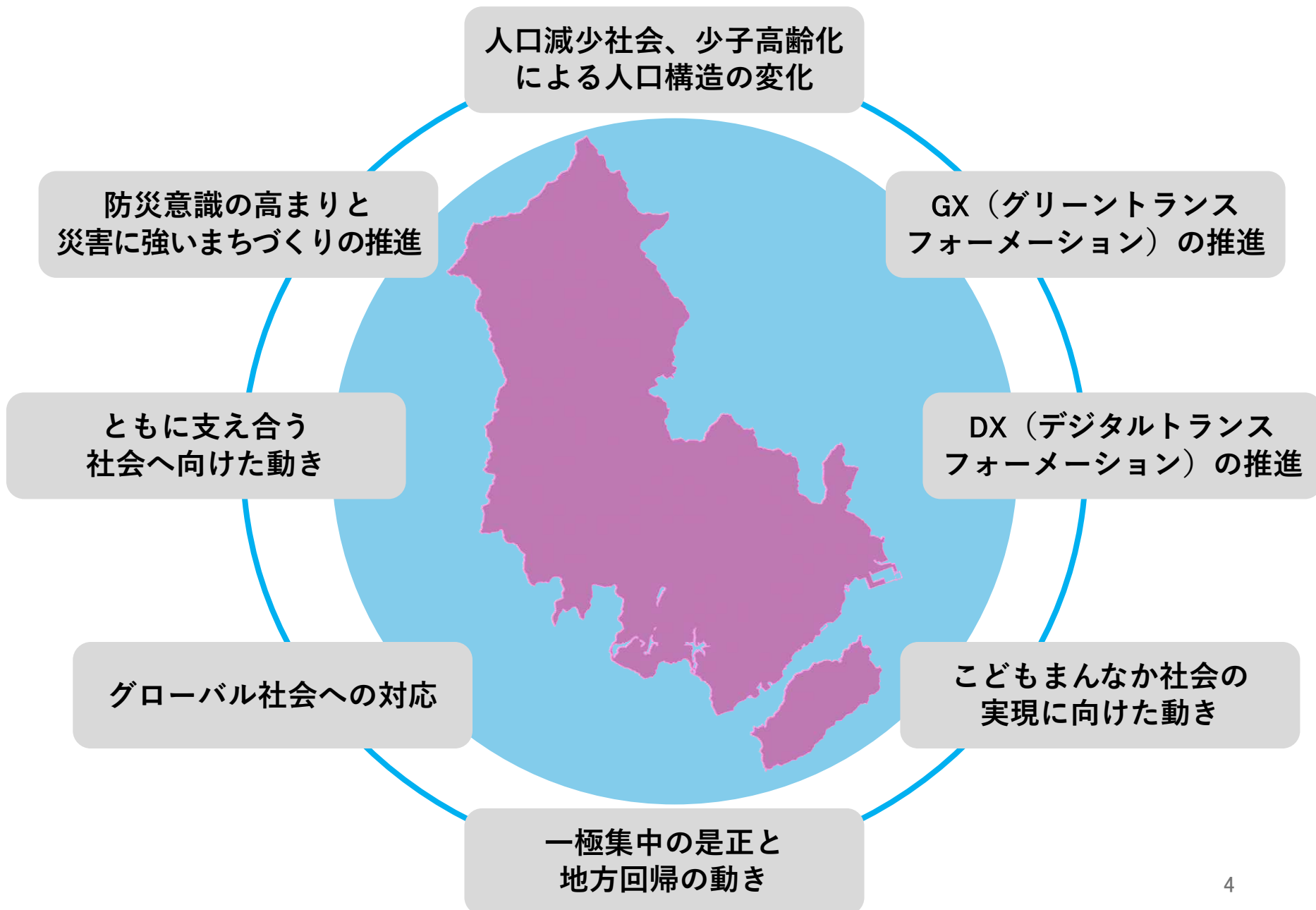
本計画は、「基本構想」、「基本計画」の2層で構成されます。

基本構想	まちづくりの基本理念や将来像を定める基本的な構想です。計画期間は10年間とします。
基本計画	基本構想の実現に向けて取り組む施策を体系的に示した計画です。一定期間で見直しができるよう、計画期間は5年とします。

【総合計画の構成】



2 廿日市市を取り巻く社会潮流

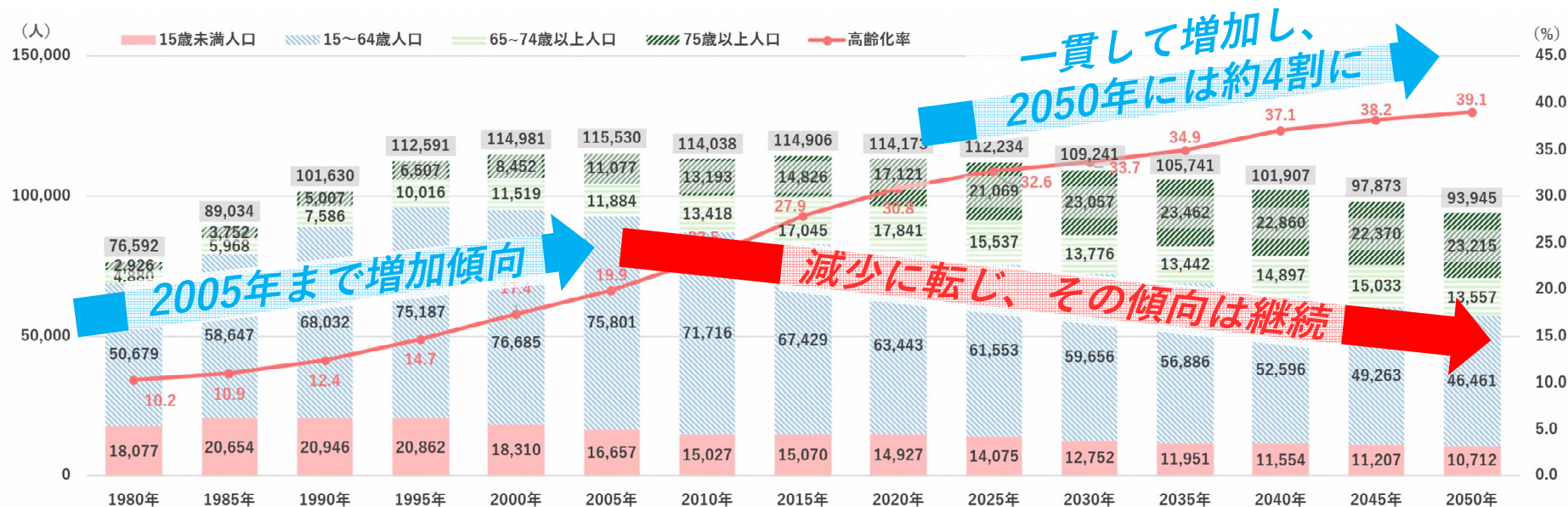


3 統計からみる廿日市市

(1) 人口

- ✓ 人口は2005年まで増加傾向にあったが、その後は減少に転じ、2020年時点の人口は114,173人
- ✓ 人口減少は、今後も継続することが予測され、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2050年には、人口は約94,000人となり、高齢化率も4割近くに達すると推計

【廿日市市の人口推移】



出典：【2020年まで】国勢調査（総務省）

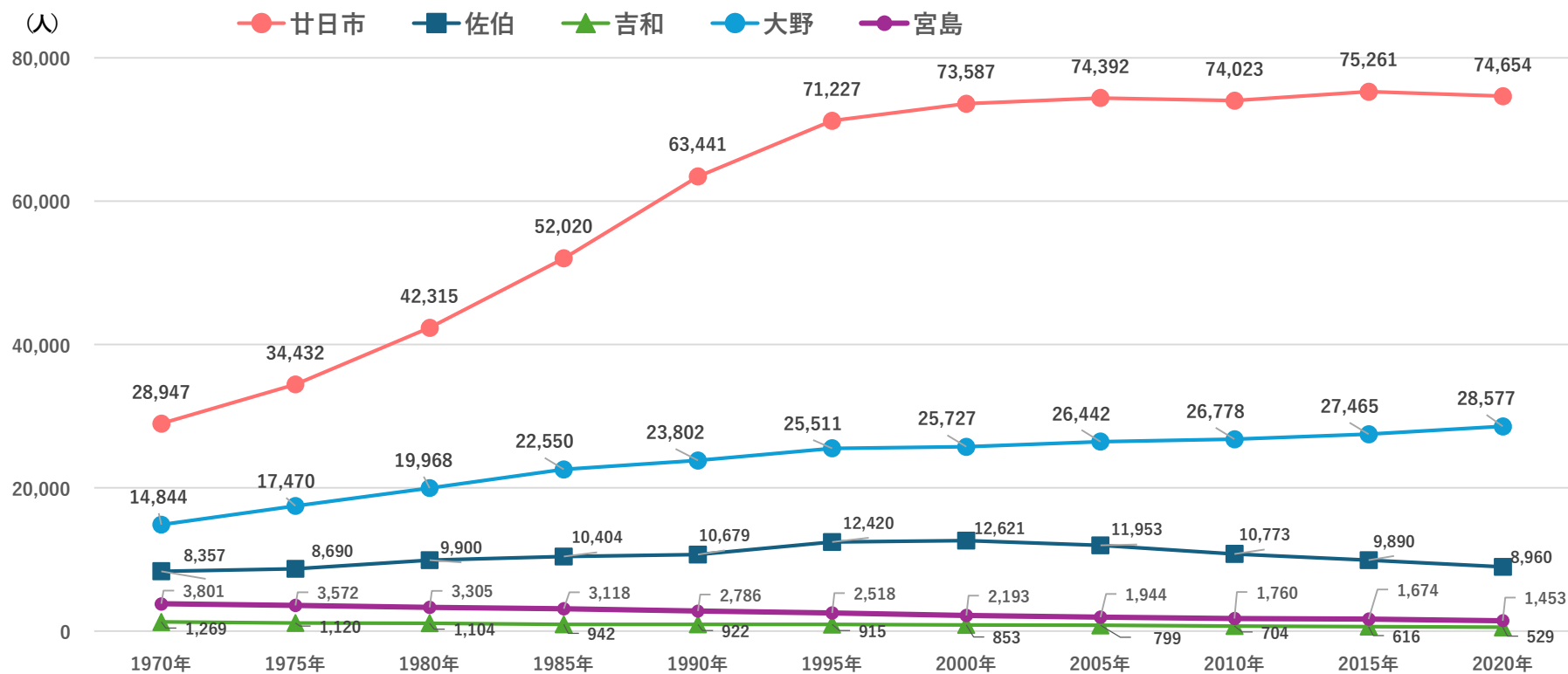
【2025年以降】日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

3 統計からみる廿日市市

(2) 地域別の人口推移

- ✓ 廿日市地域では、人口増加が続いてきたが、近年は横ばい傾向に転換
- ✓ 大野地域では、一貫して人口増加傾向が継続
- ✓ 佐伯地域では、近年人口減が継続しているが、1970年と比較すると微増
- ✓ 吉和地域、宮島地域では、一貫して人口減少傾向が継続

【廿日市市の地域別人口推移】

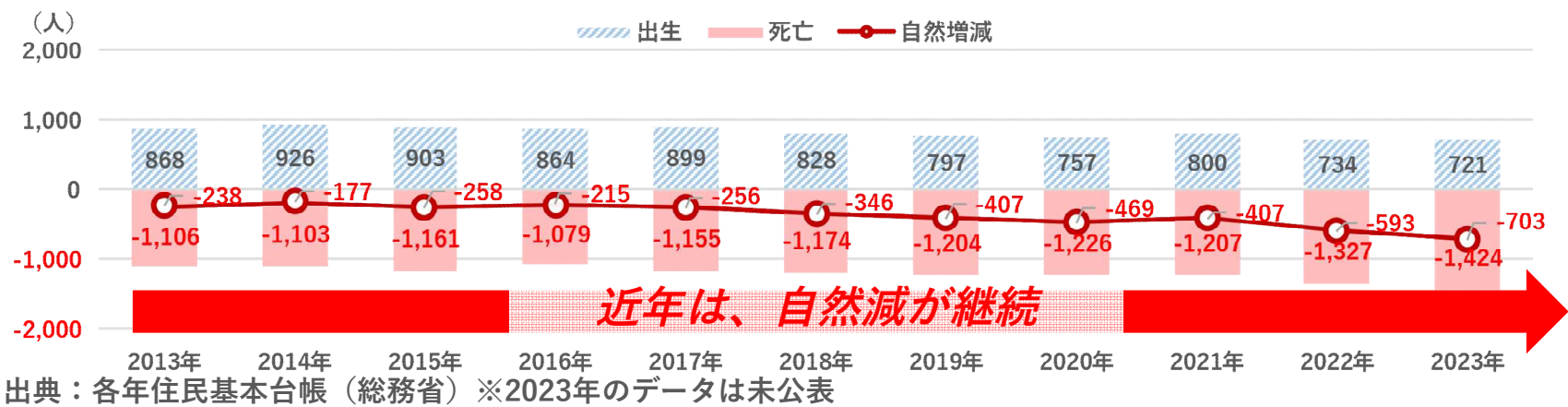


3 統計からみる廿日市市

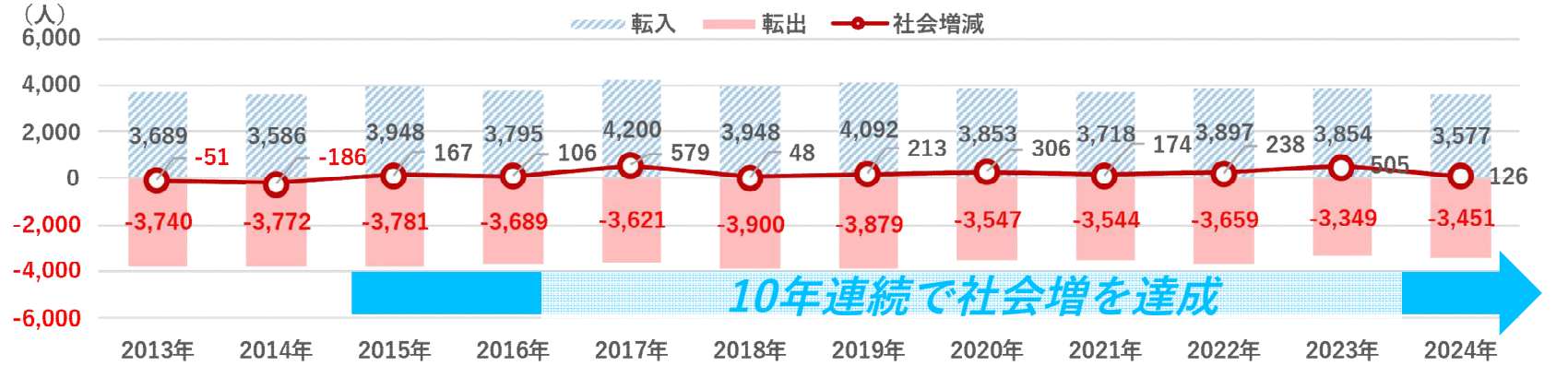
(3) 人口の自然動態・社会動態

- ✓ 自然動態は、2007年以降、死亡数が出生数を上回る 自然減が継続
- ✓ 社会動態は、2015年以降、転入が転出を上回り、10年連続の 社会増を達成

【人口の自然動態の推移】



【人口の社会動態の推移】



第2部

これからの まちづくりに向けて

- 1 みんなで描いたまちの将来像
- 2 これからのまちづくり

【将来像の策定フロー】

市民参画の取り組みによる意見の聴取

市民アンケート

団体・事業者ヒアリング

地域づくり会議

若者子ども夢会議

社会潮流・まちの強み・まちの特徴の反映

まちの未来へ向けた
将来像！！

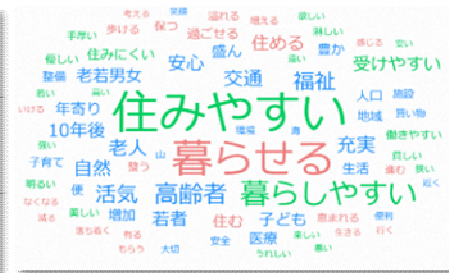
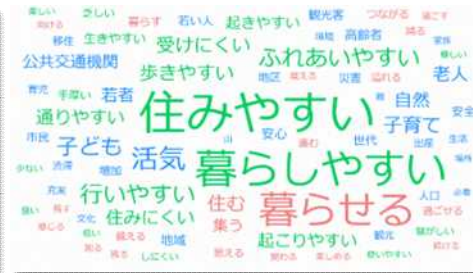
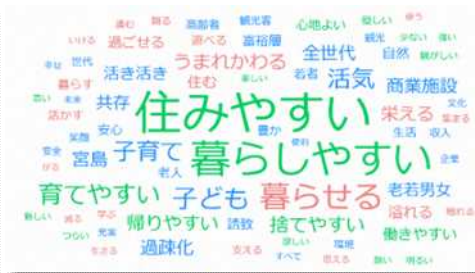
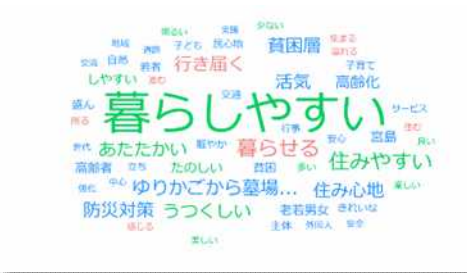
(1) 市民アンケート

[illegible]

いろいろ 綺麗 高級 施設 都庁 南港
ぶこ 子ども 栄える 美しい
ショッピングモール 楽しい 観光客 安心 温かい 多いやすい
心強い 家族を 住む 過ごしやすい 健康 にぎやか 若い
楽しい さかえる 安心 暮らせる 賑わい
幸せ 安全 治安 代
交通 平和 自然 きれいな 活気 語れる 変わる
きれい 豊か 都会 溢れる 住める 暮らせる 生活
楽しい 暮らしやすい 地域 発展 明るい 便利 自ら 手早い
作る 子育て 助け合える 過ごせる 人々 直す
かわい 生活 笑顔 歩きたい 高い 変わる
おれる しゃべり

安全 健康 安心 ショッピングセンター
 子育て 発展 生活しやすい 高年齢者 施設
 楽しみ 高齢化 若者 活気 溢れる
 子ども 豊か 暮らしやすい 明るい
 自然 暮らしやすい 暮らしやすい 暮らしやすい
 自然 暮らしやすい 暮らしやすい 暮らしやすい
 自然 暮らしやすい 暮らしやすい 暮らしやすい

高齢者



- 「活気」や「楽しい」がキーワードとしてあがっており、住んでいてワクワク感を感じるまちづくりも望まれています。
- 特に若い世代を中心に「こどもにやさしい」、「子育てしやすい」と思うようなまちづくりが求められています。
- 医療福祉や公共交通といった生活環境の充実やあらゆる面において「やさしさ」を感じるまちづくりが求められています。

1 みんなで描いたまちの将来像

(2) 団体・事業者ヒアリング

廿日市市の魅力・強み

子育て
しやすいまち

先人から受け継いだ
伝統・歴史・文化

コンパクトな
都市構造

都市圏に
近い立地環境

ブランド力のある
観光資源

木材加工や食品製造
など特徴的な産業

豊かな
自然環境

女子野球タウン

廿日市市が目指すべきまちの姿

- ✓ 大人、こども、高齢者、障がい者など、誰もが暮らしやすいまち
- ✓ 仕事と暮らしが近いまち
- ✓ 世界中から訪れた観光客に喜びと感動を与えるまち
- ✓ 文化度の高いまち
- ✓ 中山間地域でも暮らしやすいまち
- ✓ 市民と行政がワンチームでまちづくり活動に取り組むまち

1 みんなで描いたまちの将来像

(3) 若者子ども夢会議

廿日市市内に居住・通勤・通学している中学生～40才未満の若者・子どもを対象に「廿日市市の将来像」等について意見交換を行いました。



私にとっての理想のまち

子ども・子育て

- 子育てしやすいまち
- 子ども医療が手厚い
- オムツ替え支援
- 子育て施設が充実
- 子どもが集まれる場所がある
- 子どもたちが伸び伸び暮らせて、自由に遊ぶことのできるまち
- 子どもが様々な仕事をしている人に会える機会

住みやすさ

- だれもが住みやすい
- 交通が整っている
- 医療が整っている
- パブリックスペースが沢山ある
- 子ども食堂が各地にある
- 景観が綺麗なまち
- 治安のいいまち
- 防災の知識をみんなが持っている
- ゴミがなくて、綺麗なまち
- 若者が働きやすいまち

助け合い・つながり・交流

- 人々の交流が多く、まちの在り方を一人一人の意見によって決まるまち
- 老若男女問わず、市民の方々が助け合うことのできる
- 外国人との交流や若者と高齢者の交流が盛ん
- 地域の人同士の仲がいい
- つながりたい人とつながれるまち
- 高校生の交流の場

遊び・楽しい・イベント

- 昼も夜も楽しめるまち
- 子どもの遊ぶ場所がある
- コンサートが開催される
- みんなでお祭り！！何かを作り上げる体験をしたい！！
- 若者が遊べる場所があるまち

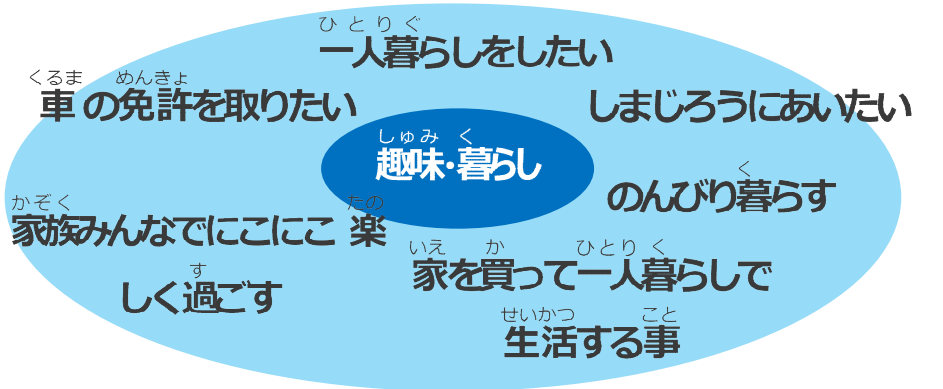
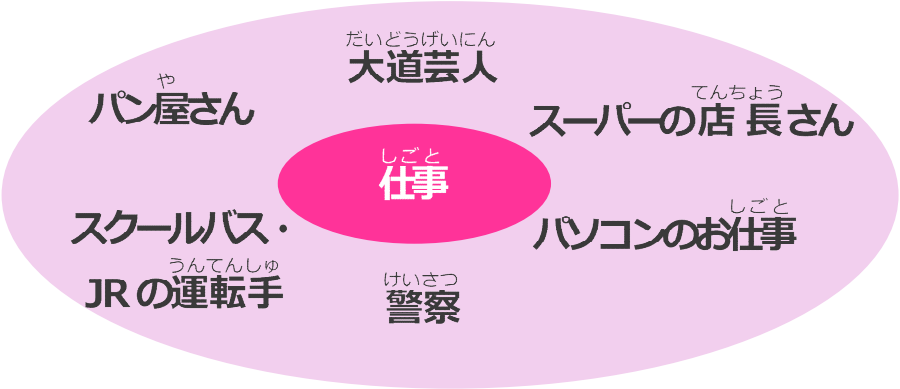
1 みんなで描いたまちの将来像

(3) 若者子ども夢会議 in 広島県立廿日市特別支援学校 阿品台分校

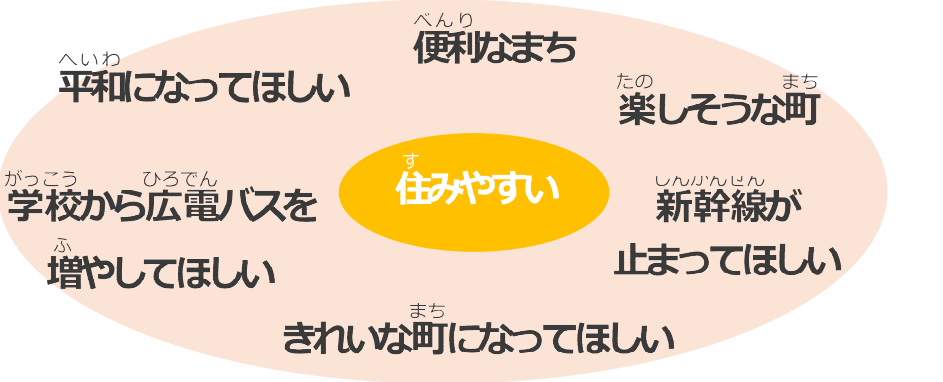
廿日市市の未来と自分の夢について語りあう
若者子ども夢会議を廿日市特別支援学校阿品
台分校で開催しました。



自分の将来の夢



自分にとっての理想のまち



2 これからのまちづくり（将来像の検討）

優しさでつながるまちづくり

やさしさ/受け入れる/多様性/つながり・交流/ともに支え合う社会へ向けた動き

歴史への敬意・資源の活用・未来への継承

世界遺産（厳島神社）/つなぐ・つなげる/変わらない

ワクワクする未来への挑戦

GXの推進/DXの推進/活気/楽しい/ワクワク/にぎわい

第3部 基本構想

- 1 まちづくりの基本理念
- 2 まちの将来像
- 3 施策の方向性

市民一人ひとりがともに 幸せに暮らせるまちづくり

価値観が多様化し、社会情勢が大きく変化する現在において、市民一人ひとりが自分らしく幸福な生活を送るためには、心身の健康と社会的環境が整い、地域内外で広範囲につながり、支え合い、それぞれが持てる力を存分に発揮し活躍できるまちをつくることが重要です。

「市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり」を基本理念に、現在、そして将来の市民が、いつまでも住み続けたい、住んでみたい、まちを目指します。

また、すべての人々の人権が互いに尊重される平和な社会を実現するため、「平和の希求」と「人権の尊重」を普遍的な理念として位置付けます。

2 まちの将来像

(1) 将来像

《2035年度に目指すまちの姿》

安心に包まれ ワクワクが広がる

未来への挑戦を楽しむまち

つなぎ つながり とともに歩む

2 まちの将来像

(1) 将来像

安心に包まれ、ワクワクが広がる

「安心」は、市民が心身ともに健康で安全に快適な生活を送ることができる優しさに満ちた「安心感のあるまち」をイメージし、安心や安らぎを感じる状態を「包まれ」で表現しています。

「ワクワク」は、誰もが未来に向かって「ワクワク」し、これからの暮らしに希望を持てるまちの姿をイメージし、希望が心の中でどんどん大きくなり、みんなにもその感情が伝わる様子を「広がる」で表現しています。

二つの要素が調和し、「安心」をベースに、毎日を「ワクワク」、明日は今日よりもっと良くなるという希望を持った暮らしを送ることができるまちを目指します。

2 まちの将来像

(1) 将来像

未来への挑戦を楽しむまち

現在は、未来を見通すことが難しい時代と言われています。その一方で様々な技術革新や新しい価値観の台頭など、見方を変えれば可能性は無限にあります。

こうした可能性を活かし、これまで先人から受け継いできたこのまちを未来へつなぐための、果敢な挑戦をまち全体で行っていきます。

また、挑戦の主体は、行政、企業、市民など様々な考えられますが、それぞれが挑戦を楽しむとともに、それぞれの挑戦を応援し合う風土を醸成していきたいという思いを「楽しむ」に込めています。

2 まちの将来像

(1) 将来像

つなぎ つながり とともに歩む

これからのまちづくり（未来への挑戦）は、それぞれの主体が単独で取り組んでいては、様々な要素が複合した課題の解決は困難です。

長い歴史に育まれた文化や豊かな自然をつなぎ、廿日市市に関わりのある様々な人がつながり、互いに支え合いながら、ともに未来への挑戦に取り組んでいくという思いを込めています。

2 まちの将来像

(2) 将来像の実現に向け、大切に考える考え方

① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり

人口減少・少子高齢化や、気候変動問題など、社会情勢が変化する中であっても、希望ある未来を次世代へつなぐために、あらゆる分野において長期的な視点を持ち、自然環境と社会・経済の健全なバランスを保ちながら、持続可能性を重視したまちづくりに取り組みます。

② 安全・安心な暮らしの確保

まちづくりの根底にあるのは、市民が安全に安心して暮らせる環境です。市民の暮らしを守る体制を整え、快適に生活できる社会基盤を整備し、誰もが住みやすいまちづくりに取り組みます。

2 まちの将来像

(2) 将来像の実現に向け、大切に考える考え方

③ 多様性と包摂性※のある地域社会の実現

性別、年齢、国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての市民が他者との違いを受け入れ、個性を尊重しあい、自分自身の可能性を最大限に発揮できるまちづくりに取り組みます。

※包摂性：多様な立場や価値観、属性を持つ人々を排除することなく、全体に取り込む
という考え方や性質

④ 多様な主体によるまちづくり

市民、団体、企業、地域、行政など、多様な主体がそれぞれの立場を理解し、強みや個性を活かしながら、ともに支え合い、地域の課題解決に向けて協力、挑戦できるまちづくりに取り組みます。

2 まちの将来像

(3) 将来の都市構造

土地利用の基本方向

【基本的な考え方】

- ①多様な地域特性を生かし、次世代へつなぐ土地利用
- ②将来を見据えた土地利用
- ③それぞれの地域がつながる土地利用
- ④安全・安心に暮らせる土地利用

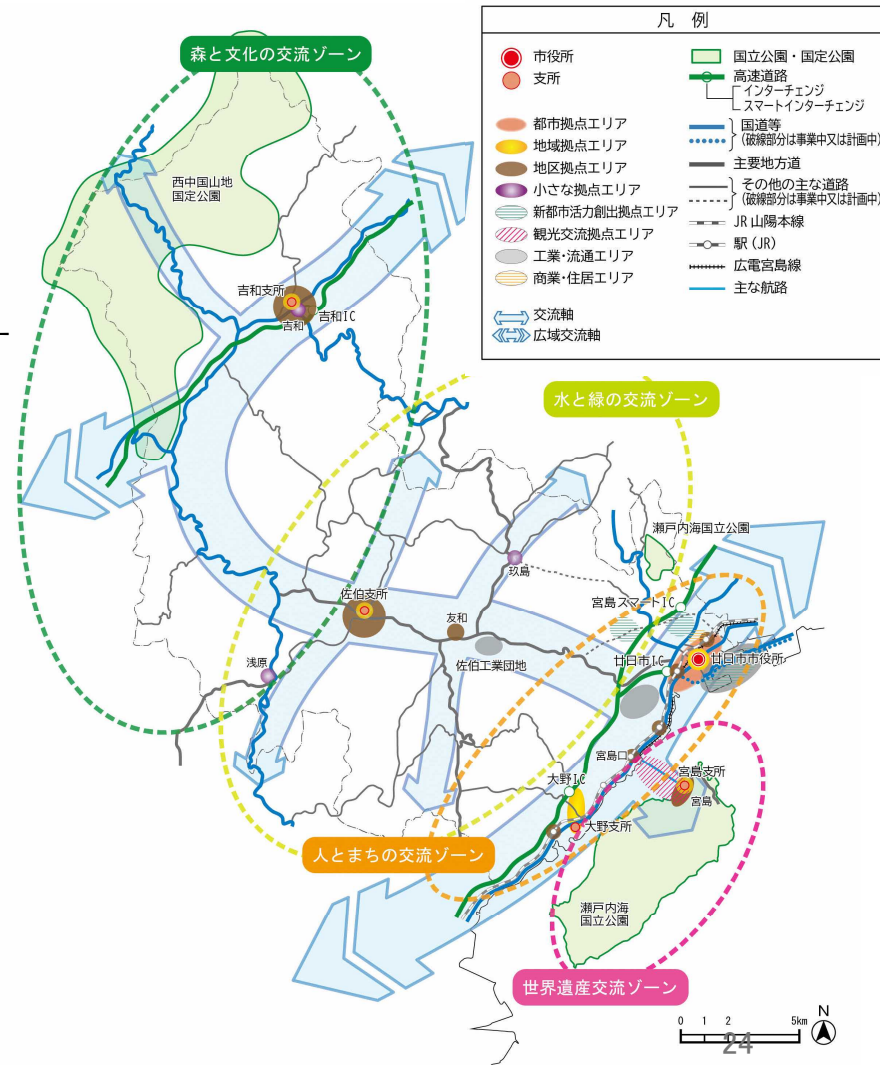
(3) 将来の都市構造

①特性を活かしたゾーン

- ・人とまちの交流ゾーン
- ・世界遺産交流ゾーン
- ・水と緑の交流ゾーン
- ・森と文化の交流ゾーン

②都市を構成する主要機能の配置・形成方針

③ヒト・モノ・コトと地域をつなぐ交流軸



3 施策の方向性

基本理念

市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり

まちの将来像

安心に包まれ ワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち
つなぎ つながり とともに歩む

将来像の実現に向け、大切に考える方

- ① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり
- ② 安全・安心な暮らしの確保
- ③ 多様性と包摂性のある地域社会の実現
- ④ 多様な主体によるまちづくり

将来のまちの姿と施策分野

1.こども・子育て・教育

5.生涯学習・スポーツ・文化

2.健康・福祉

6.都市基盤

3.安全・安心

7.環境

4.産業

8.地域づくり・人権・多文化共生

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

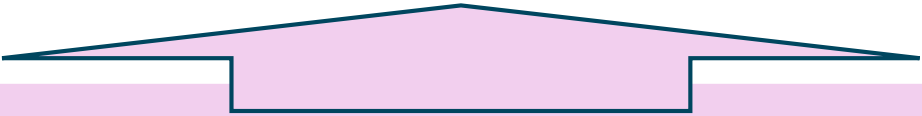
1. こども・子育て・教育

目指すまちの姿：みんなで子育てを支え、こどもの成長に喜びを感じられるまち

- － こどもが幸せに育っています。
- － 保護者が子育てに伴う喜びを感じています。

**目指すまちの姿：こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの可能性を信じて
チャレンジ・自己実現できるまち**

- － こどもが自らの可能性を信じて未来に向けて挑戦しています。

- 
- こどもを中心にまち全体に笑顔が広がっており、地域や企業など多様な主体で子育てを支えている。
 - 妊娠期から子育て期まで、全てのこどもと保護者が切れ目なく必要な子育てサービスを受けることができる。
 - 学校教育では、一人ひとりの良さや可能性を伸ばしつつ、人生を切り拓いていくために必要な「生きる力」を育んでいる。

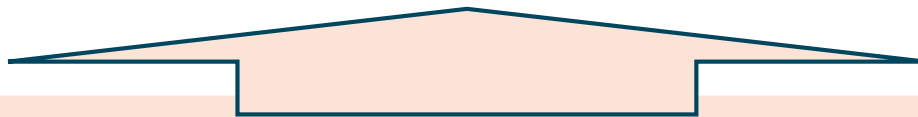
3 施策の方向性

各分野の目指す姿

2.健康・福祉

目指すまちの姿：つながり、支え合い、笑顔で暮らせるまち

- － 個人の意思が尊重され、住み慣れた地域で支え合いながら安心して暮らしています。
- － 市民が健康でいきいきと自立した生活ができています。



- 日常生活の中で、自然な見守りや声かけ、交流により、人と人とのつながりが育まれ、地域の多様な主体（行政、医療機関、企業、NPO、市民団体等）が連携し、年齢や経済状況、障がいのありなし等にかかわらず様々な人々が共に支え合っている。
- 市民一人ひとりが、健康を意識し、運動や食事に気を配ることが日常の一部となり、ライフステージに応じた健康づくりに取り組んでいる。
- 安心して医療や介護・福祉サービスを受けることができる体制が整っており、住み慣れた地域において安心して暮らすことができている。

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

3.安全・安心

目指すまちの姿：誰もが安全に、安心して過ごせるまち

－市民の生命や財産が、災害や犯罪、交通事故等の脅威から守られています。

- 
- 防災に関する啓発活動に取り組むことで、市民一人ひとりが災害を「自分のこと」として捉え、災害情報の収集や避難経路の確認、家庭内備蓄などの準備を行うとともに、災害時には自ら正しい避難行動をとるなど、災害に対する自助の意識が醸成されている。
 - 消防・救急体制の強化により、災害の規模や種別に応じた迅速な対応が可能となっている。
 - 犯罪や交通事故防止に向けた啓発活動を関係機関と連携して推進し、市民の防犯や交通安全に対する意識が向上するとともに、歩道を安心して通行できる環境が整備されている。

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

4.産業

目指すまちの姿：「はつかいちらしさ」を活かし、地域経済の好循環により発展するまち

- ー 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- ー 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和し、持続可能な観光地となっています。

- 
- 広大な市域に多種多様な産業がある本市の強みや特色を活かし、産業関連の強化や産業基盤の整備などを推進することで、多様な事業活動が活発に行われ、地域経済に好循環が生まれている。
 - ダイバーシティ経営の推進により市民の誰もが安心して働きやすい職場が増えている。
 - 農林水産業は、需要増加や担い手の育成、デジタル技術の活用が進み、魅力があり、働きがいのある職業として選択する人が増えている。
 - 各地域の観光資源の磨き上げや戦略的なプロモーションを行い、観光客の滞在時間や消費が拡大している。

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

5.生涯学習・スポーツ・文化

目指すまちの姿：生涯にわたって自分らしく心豊かに暮らせるまち

ー 学びやスポーツ・文化芸術を楽しむ環境が充実し、市民の誰もがいきいきと自分らしく暮らしています。

目指すまちの姿：歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

ー 市民が、市の歴史や伝統文化に誇りと愛着を持ち、次世代へ継承しています。

- 
- 市民がともに学んだり、対話を重ねることを通じて、地域内に人と人のつながりが生まれるとともに、学んだことを地域社会に生かす市民が増えている。
 - スポーツや文化芸術に親しむことで、市民の健康づくりや生きがいにつながっている。
 - 宮島では、普遍的な価値を次世代に継承するため、住民や関連団体など多様な人々が活動し、伝統的な建物や暮らしの魅力を体感できる場や機会が提供されている。

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

6.都市基盤

目指すまちの姿：安全・安心で快適に暮らせる都市機能が充実しているまち

ー生活に必要な機能と住環境が整備され、市民が快適に暮らしています。



- 集約型都市構造の実現に向けて、市中心部や各地域の拠点では人々が集まり、賑わいが創出されている。
- 多様な主体との連携と協働により、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築され、市民の身近な移動手段として生活を支えている。
- 地域を問わず、子育て世帯から高齢者世帯まで、すべての世帯に対して充実した住まいが提供されている。
- 都市間・地域間を結ぶ道路が計画的に整備され、利便性の高い道路環境が形成されている。
- 都市の浸水対策として、浸水常襲箇所での雨水対策が実施され、浸水の防除が図られている。

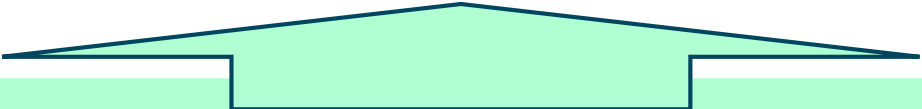
3 施策の方向性

各分野の目指す姿

7.環境

目指すまちの姿：自然と社会が共生できるまち

ー地域の自然資本が次世代に継承されています。

- 
- 日常生活や事業活動において、環境への配慮や環境との調和を大切にする行動が主流となっている。
 - 再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進により、温室効果ガスの排出が抑制され、ゼロカーボンシティの実現に近づいている。
 - 自然環境の価値は、人々の暮らしを支える基盤として認識され、豊かな自然環境の保全と生物多様性の維持が実現している。
 - 地域資源の効率的な活用やごみの発生抑制・資源化が進み、環境負荷の少ない、持続可能な循環型社会が構築されている。
 - 自然環境と社会・経済のバランスが保たれた、きれいで暮らしやすい持続可能なまちが形成され、地域の自然資本が次世代へと引き継がれている。

3 施策の方向性

各分野の目指す姿

8.地域づくり、人権、多文化共生

目指すまちの姿：誰もが学び、つながり、活躍することで、地域らしさをともに守り創れるまち

－幅広い世代と多様な主体が参画し、地域のニーズや課題を捉え、地域の特性を生かした持続可能なまちづくりが進んでいます。

目指すまちの姿：誰もが他者との違いを認め合い、安心して暮らせるまち

－市民一人ひとりが多様性を理解し、自分らしく暮らしています。

- 
- こどもから高齢者までの幅広い世代の住民が地域のまちづくり活動に関心を持ち、社会の創り手として、まちづくり活動に参画している。
 - 姉妹都市などの海外との交流や国際交流活動の発信などが活発に行われることで、外国語や海外文化に触れる機会が増え、国際交流活動に関心を持ち、参加する人が増えている。
 - 市民一人ひとりが自らの希望に応じて、自分らしい働き方や生き方を実現し、いきいきと暮らしている。

はつかいち未来ビジョン2035(次期総合計画基本構想案) の意見募集

【募集期間】

令和7年8月13日（水） から 9月11日（木） まで

【閲覧および意見記入様式の配布場所】

- ・市ホームページ
- ・市役所4階経営政策課、2階行政資料室、各支所地域づくり係
（土・日曜日、祝日を除く）

【意見の提出方法】

- ・様式に記入し、電子メール、郵送、経営政策課へ持参
のいずれかの方法で

個別計画

計画の策定にあたっては、特定の行政課題に対応する個別計画との関係性を明確にし、整合を図ります。

【個別計画の一例】

➤ 都市計画マスタープラン

計画期間：令和 8（2026）年度～令和 17（2035）年度

➤ 第4期協働によるまちづくり推進計画

計画期間：令和 8（2026）年度～令和 12（2030）年度

➤ 産業振興ビジョン

計画期間：令和 8（2026）年度～令和 17（2035）年度

➤ 観光振興基本計画

計画期間：令和 8（2026）年度～令和 17（2035）年度

➤ 第4期地域福祉計画

計画期間：令和 8（2026）年度～令和 12（2030）年度

廿日市地域で展開されているまちづくりの取組

未来物流産業団地造成事業

- ✓ 産業団地の整備により市内外企業を留置・誘致し、雇用の確保、市内経済の発展図るとともに、新たな市街地開発を誘引。

新機能都市開発推進事業

- ✓ 平良丘陵開発土地区画整備事業（組合施行）の支援を行い、産業団地と観光・交流拠点の基盤整備を促進。

シビックコア地区整備事業

- ✓ 本市の都市拠点であるシビックコア地区まちづくりの実現に向け、関係者とまちづくりの整備手法など具体的な話し合いを進める。